

イチキ大工通信

NO.11

お問い合わせ

mobile:080 (1059) 1426

mail:info@ichiki-daiku.com

いよいよ工事も終盤になってきました。といっても、まだまだ様々な工程が残っていますが、現場はだいぶイメージがわきやすい状況になってきましたよ！

12月5日(土) 10:00~14:00 に、中間内覧会を行います。

最近、暗くなる時間も早いので、学童の保育中に子どもたちが現場へ来るのも難しそうで、来ることのできていない子どもたちも多いかと思えます。是非ご家族で見学にいらしてくださいね！この日以外でも、ご都合のつくときには気軽にお立ち寄りください！

土壁体験～荒壁（あらかべ）～

10/22、10/24に荒壁つけ体験をしました！親子でも参加してくださり、ありがとうございました！大人も子どもも楽しんで、どんどん手が動く様子が嬉しかったです。



材料に混ざった藁が発酵したにおい、最初は「くっせ～」なんて言っていた子どもたちも、触ってみたら感触が病みつきに…。みんなが夢中になって、手をたくさん動かして“泥遊び”楽しんでいた子どもたちでした。



荒壁つけ体験では、土のねっとりした感触が、気持ちいい！という子どもたちの様子が見られました（大人もですね！）。躊躇したり、戸惑う子もいましたが、積極的にやってみる友達や、年上の子から刺激を受け、とにかく“やってみる”ことができていました。

少し戸惑うことにも一歩踏み出してみる、そういった経験の一つにもなっていたようで短時間のうちに子どもたちが挑戦して成長していくような姿が印象的でした。

やってみたら、意外と面白かったり、発見にもなっていたようで、とても嬉しかったです！

この後外壁は、下地をして、板を張っていきます。室内の壁は、あと複数回の塗り工程を経て、仕上げていきます。この後の工程もとても楽しみです！

左官屋さんの作業の様子



土と藁を混ぜた材料を、小舞につけていきます。狭い場所は足場の上から、さし棒という道具を使って下の人へ土を渡します。テンポよく行われる作業、職人さんはどんどんきれいに荒壁をつけていきます。すべての荒壁つけが終わり、左官屋さんの工程が一つ区切りになります。2週間ほど壁を乾かし、新たな工程が再開します。今週から「貫伏せ」という工程に入ります。

左官職人さんの紹介



左官吉田 吉田 一正さん

吉田さんは、日本一の土壁左官職人です。現代の職人さんではなかなかできない・知らないような、知識や技術をたくさん持っておられます。吉田さんが塗る壁は、仕上がりがとてもきれいで建築を美しく引き立ててくれます（土壁は、塗る職人さんによって仕上がり全然違うのです！）。

私も土壁について、いろいろなことを尋ねさせてもらっていますが、どんなことへも真剣に、丁寧に、教えてくれます。分からないことや興味のあること、もっと知りたいことなどなど…是非吉田さんに尋ねてみてくださいね！

学童っ子のことも、いつもあたたかく見守ってくれています。土壁の作業は建築工程の終盤まで続きますので、皆さんも是非見に来てください！